

サポートセンター オ'ハナセミナー

～ 依存症は生きづらい ～

プログラム

大嶋 栄子さんのお話

休憩

パネルディスカッション

<パネリスト>

大嶋 栄子さん

上岡 陽江さん

鶴田 桃工さん

小嶋 洋子さん

2022年1月22日 (土)

13:00～16:00

* オンラインにて開催 *

参加費無料!

男性・女性問わず

関心のある方はどなたでも

お入りいただけます。

参加ご希望の方は、下記アドレスに空メールの送信をお願いします。

ohanaseminar2201@japanmac.or.jp

※Zoomによるご参加のみとなります。

お問い合わせ

サポートセンター オ'ハナ

〒114-0023 東京都北区滝野川6-76-9 エスポワール・オチアイ6F

[TEL] 03-3916-0851

[FAX] 03-5972-4773

裏面もご覧ください!

パネリストの紹介

おおしま えいこ
大嶋 栄子 さん



NPO法人リカバリー代表、日本医療大学講師、国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所客員研究員。札幌市男女共同参画審議委員、女子刑務所のあり方検討委員会委員。博士(社会福祉学)。精神科ソーシャルワーカーを経て、2002年にさまざまな被害体験を背景にもつ女性の支援をおこなう「それいゆ」を立ち上げる。2004年、NPO法人リカバリーとして認証され、現在4カ所の施設を運営。2019年10月に最新刊『生き延びるためのアディクション』（金剛出版）刊行。

かみおか はるえ
上岡 陽江 さん



ダルク女性ハウス代表。精神保健福祉士。薬物・アルコール依存症、摂食障害からの回復者。施設の資金繰りに日々悩みつつ、仲間とともに運営に奮闘を続けている。エレファントカシマシの熱狂的ファンだが、最近ライブチケットがとれない。著書に「その後の不自由」（共著 医学書院）、「生きのびるための犯罪」（よりみちパン!セ）など。

つるだ ももえ
鶴田 桃工 さん



摂食障害経験者。NABA代表。精神保健福祉士。10代で摂食障害を経験。大学卒業、就職し、専門医から「回復した」との太鼓判をもらうも、3年後には食べ吐き万引き暴れるわで両親が家出し人生が極まる。その後「重症の鬼娘」としてNABAにつながるが、仲間の中で回復・成長し、1994年には代表となり、仲間を愛し?!愛され??居座り続ける。

こじま ようこ
小嶋 洋子 さん



アルコール・薬物依存症からの回復者。AC本人。NPO法人あんだんて 女性サポートセンターIndah（インダー）代表。10代から依存症となり、東京の支援施設で回復。その後、横浜のアルコールリハビリ施設で職員として13年勤める。2012年に横浜で、女性が安心できる居場所としてIndahを開設。女性の依存症者の回復支援に携わる。